

(様式3)

目標達成計画

事業所名 グループホームおやま

作成日: 平成 28年 4月 5日

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2-(2)	日常的な地域との関わりが少ない	当事業所で計画している月に一回の行事の他に、地域で行われる行事等にも積極的に参加する。また地域ボランティアを活用し交流を増やしていく。	法人内での行事や地域ボランティアの見学を継続する。運営推進会議等で地域での行事やボランティアの情報収集し参加出来るようなものを決め、職員体制を整え参加する。木崎中学校の福祉体験依頼があり受け入れを予定している。	6ヶ月
2	4-(3)	運営推進会議を隣接の老人保健施設で開催し、運営推進委員へ文書で事業所の様子等を報告しているが、実際に入居者様の普段の様子、食事等の様子を見てもらう機会がない。会議出席のご家族代表以外のご家族へ会議内容の報告を行っていない。	運営推進会議の会場をグループホームとし、運営推進委員の方に入居者様の普段の様子や食事作り等の様子を見て頂き、交流の場としても役割を担っていきたい。	平成28年度より7月、11月、3月の運営推進会議については当事業所内で行う事が決定しており、事業所の雰囲気や入居者様の普段の様子、食事作り等を委員の方に見て頂く。また、全ご家族様へ会議後、速やかに会議録の報告(郵送)行う。	4ヶ月
3	6-(5)	全職員が身体拘束についての正確な認識が出来る様に努める。	身体拘束にあたる具体的な行為を全職員が学ぶ機会を持つ。何が禁止行為にあたるのか正確に認識する。	身体拘束についてのマニュアルを整備し、事業所内での会議で確認し合う。また、内部、外部問わず研修会等あれば参加し学ぶ機会を持つ。	6ヶ月
4	7(5-2)	全職員が虐待行為について常に意識してケアに取り組めるよう努める。	職員が虐待について定期的に確認し合う。研修機会をもち、マニュアル等を用いて常に意識出来るよう取り組む。	虐待についてのマニュアルを整備し、事業所内での会議で確認し合う。日々のミーティング等でも定期的に確認し合ったり、研修会へ参加し学ぶ機会を持つ。	6ヶ月
5	35-(13)	避難訓練を実施する時間帯が毎回午前中であり、夜間に近い時間に実施していない。災害時避難の際、法人内や地域との協力体制の具体化が行えていない。	日中、夜間に起こりうる災害等に柔軟に対応できる様、訓練の時間帯や内容を見直し実施する。また、避難時の法人内の協力体制、地域との協力体制の確認を行い具体化する。	防災活動年間スケジュールをたて、法人内合同での訓練を盛り込み実施していく。運営推進会議等で地域で行われる防災訓練の日程を情報収集し、地域内で行われる防災訓練にも参加する。	8ヶ月